

市民活動団体の活動の姿を見に来てください。

第7回市民活動団体交流まつり

カッコーフェスタ'12

大和商工会議所主催の「やまと産業フェア」の開催に合わせ、11月に実施。今回で7回目。

参加団体数は今回24。大和市には市民活動団体がたくさんあり、更に参加を期待したいところです。

このフェスタは大和で活躍する「センター」の登録団体が工夫を凝らして盛り上げています。

当日の様相

今回の内容は団体の活動紹介をする展示・実演デモ、バルーンアート・おりがみ・お花・皿回しなどの体験、そして活動団体から提供の有機栽培野菜や東日本大震災の被災地、東松島市のノリなどの販売もあります。

引地川水とみどりの会の子ども達は“引地川リサイクル大作戦”というタイトルでゲームをします。

人気のスタンプラリーも行います。会場を一巡、指定個所でスタンプを押し、終えて、くじを引いた人、みんなにプレゼントします。

[拠点やまと]は、バザーを行い、売上金を市民活動推進資金へ寄附します。



当日のフェスタの様子は「センター」ホームページにアップロードされます。写真や記事でも「カッコーフェスタ! 12」を楽しんでください。

<http://www.kyodounokyoten.com/>

「カッコーフェスタ」のキャラクター
カッコちゃん



準備の様子...

開催に向けフェスタ盛り上げ隊の準備打合せは10月に4回行われました。

文字通り「お祭りを盛り上げ」ようと企画するのですが、実態は「こうしたら?」「だれが作るの?」「去年は雨でインクが流れた」など茶話会の雰囲気です。

「カッコーフェスタの命名」「カッコちゃんのイラスト」そして、賑やかな「のれん状の文字看板」など多くのアイデアは、この打合せから生まれました。参加23団体の応募や自分達の活動を知ってもらおうと延50名以上の人からの企画意見が有効に生かされ、準備も例年より早くまとまりました。



心にヒットするフェスタにしたい

なかなか団体の活動現場には伺うことはできませんが、フェスタも7回を数えると、販売のコーヒーをご馳走になったり、手作り品をいただいたり、お馴染さんとは「お久しぶりです」と話はずみずみです。参加団体からもお隣さんとお互いの活動を紹介し合ったり、交流が生まれたと喜ばれてもいます。

産業フェアの人出に便乗しているので、来場者は市民活動に無縁な人が多いのですが、少しでも心にヒットするフェスタにしたいと思っています。

(拠点やまと会長 関根孝子)

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例

第9条(協働の拠点)

市民等、事業者及び市は協働の原則に基づき、それぞれの役割分担に応じて、社会資源の充実を図るための協働の拠点を設置し、その充実に努める。

2、協働の拠点は、原則として市民等がその運営を担う。

※今期は[拠点やまと]が担っています。